まぶしい真夏の太陽の下、賑やかに、華やかに、オープン。

緑と水をテーマにした第四回全国都市緑化くまもとフェア「クマモトグリーンピック'86」が、八月一日、熊本市江津湖公園で華々しくオープンしました。

ぬけるような青空の下、テープカットに引き続き、午前九時過ぎから始まったセレモニーでは、各パビリオンの紹介、細川知事らのあいさつの後、グリーンピック・ガールズの躍動感あふれるミュージカルショー、おてもやんなどの郷土芸能も披露されました。この日午後には、全国高等学校馬術大会に御来熊の礼宮さまも会場を御視察されるなど、この夏西日本最大のビッグイベントは、初日から盛り上がりをみせました。

二十世紀を担う若者たちの手で。

▼テープカット

二十一世紀をめざした緑と水の博覧会を象徴するように、テープカットを行ったのは、西暦二〇〇一年八月一日に二十歳になる五歳の男女、八月一日で二十歳の男女、海洋少年団とみどりの少年団の男女計六人の若者たち。

ファンファーレも高らかに。

▼オープニング・セレモニー

山本直純さんの指揮する吹奏楽団のリズムに乗せて、コンパニオンが勢揃い。

楽しみながら学ぶ、水と緑の大切さ。

▼テーマ館

水と緑、私たちのくらしに欠かすことのできない大切な資源を様々なディスプレイや映像、写真パネルで紹介するグリーンピックのメイン館。

（写真はテーマ館内で細川知事の説明を熱心に聞き入られる礼宮さま。）

パビリオンいっぱいに広がるさわやかな感動。

▼グリーンピック シアター

世界の鳥と人の交流を描いた映像、熊本の自然、世界各国の緑と都市と人間などを描いたマルチ画面は感動の連続。

つくばの超人気館は予想どおりの大盛況。

▼富士通館

立体CG映画「ザ・ユニバース」は、前評判どおりの超人気。太陽系五十億年の宇宙と生命の営みを映し出すスクリーンは迫力満点。

目を見張る科学の驚異！

▼バイオドーム

一本の樹に一万個のトマト、一本の苗から三千本のキュウリや百個のメロン。生命の神秘、技術の進歩には驚かされる。

連日、連夜、多彩な催しを展開。

▼お祭り広場

連日繰り広げられる華やかなショーの競演。江津湖からの快い涼風が広場いっぱいに吹きわたり気分は最高。

ここでの主役はチビッコたち。

▼ニューメディア館